

のびのび



令和3年度校長室だより 4月30日号

湯田小学校の大切な言葉：あしたも会おうね 温かい学校 ～学び合い～

チャレンジ目標：湯田小ABC

一挨拶 一挨拶 ～あいさつの達人を目指して～

校長 藤井 智 寛

以前オーストラリアを旅行した際に、公園を歩いていると行き交う人から声をかけられうれしくもあり、なぜこうも声をかけてくるのか不思議でもありました。ある時本を見ていると、アメリカやオーストラリアなど多国籍・多民族国家では、様々な文化や思想をもった人々が集まっているため、まずは相手が自分に危害を加えないことを確認するため“Hello!!”と声をかけ、“Hi!”と返すやり取りが頻繁に行われると書かれており、妙に納得したことがあります。

一方、日本人のあいさつは少し意味合いが違ってきます。あいさつの語源は「一挨拶（いちあいいちさつ）」、禅宗の問答に由来した言葉だそうで、「挨拶」は心を開いて近づく、「挨拶」も同様に、迫る、近づくという意味があります。あいさつは「心を開いて相手に近づく」という意味です。「素直にあいさつができることは、社会秩序の基である」という日本古来の考えは、素晴らしいものだと思います。しかしながら、あいさつが人間関係を築く上で大切なものというのは頭ではわかっていても、大人でも、なかなか実行できない人もいます。心を開くことへの恥ずかしさや、相手に心を開くことへの恐れがあるのかもしれない。



朝、学校前の横断歩道を渡る子どもたち

毎朝正門前の横断歩道に立っていると、たくさん子どもたちとあいさつを交わします。「おはよう。」と声をかけ、あいさつが返ってくるとこちらの心を受け止めてくれているのだと感じ安心します。声だけでなく、目を合わせてあいさつを返ってくるとさらに安心しますし、子どもたちから先に「おはようございます。」とあいさつしてくれると、私に心を開いてくれているのだとうれしくなります。相手よりも先に自分からあいさつすることは何でもないようですが、なかなかできることではありません。家族や友達といった親しい関係の人だけでなく、地域の人々に自分から自然にあいさつができる子は、「あいさつの達人」だと思います。しかしながら「あいさつの達人」と呼べる子は朝のあいさつの様子を見る限りでは、まだ全校の1～2割程度といったところでしょうか。人間関係のスタートとなるあいさつは非常に重要であり、これからの社会でも人とのコミュニケーション力は必要不可欠な力になると思います。学校も引き続き指導をしていきますので、学校と保護者、地域が一丸となって、あいさつが飛び交う気持ちのよい社会をつくっていきましょう。

あいさつを習慣化するために

湯田小学校では、「あいさつ」の大切さを子どもたちに伝えるだけでなく、日々のあいさつが習慣化するように取組を行っています。

◎ 総務委員会によるあいさつ活動

5・6年生の総務委員の児童が、毎朝交代で『ゆだっこあいさつ』などと記したアーチを持って体育館前のスマイルロードに立ち、全校にあいさつを呼びかけます。



アーチを持つ総務委員

◎ 湯田小 ABC の唱和

毎朝、校内放送で湯田小 ABC を朗読し、その後を全校で唱和しています。

『湯田小 ABC

A………… あいさつは 明るく はっきり だれにでも 』

※ ちなみに校内放送は、

B………… ビューティフル そうじも 歩行も サイレント

C………… チャレンジだ めあてに むかって がんばろう

あしたも会おうね 温かい学校

と続きます。

ゴールデンウィーク中の緊急連絡について

ゴールデンウィーク中（5/1 ～ 5/5）は学校に職員が不在のため、児童に関係する事故等が発生したときの緊急連絡を下記のとおり電話転送システムにより対応いたしますのでご理解・ご協力をお願いいたします。

○ 転送システムについて

湯田小学校の電話番号（922-0092）に電話をかけると、しばらくして校長の携帯電話に転送されます。電話は校長が受け、関係教職員・関係機関と情報を共有し必要に応じた具体的な対応をします。

○ 転送システムの期間

令和3年5月1日（土） ～ 令和3年5月5日（水）

○ 緊急連絡の内容について

学校への連絡が緊急に必要な場合に活用するシステムですので、忘れ物等への対応は致しかねます。ご了承ください。

○ ご留意いただきたいこと

転送先は個人の携帯電話であるため、時間帯によっては電話がとれないこともあります。その場合は時間をおいて再度おかけください。